

平成 18 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 トレイダーズ証券株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(証券コード 8704 大証ヘラクレス S)
問合せ先 常務取締役 C F O 新妻 正幸
(TEL 03-5114-0333 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 4 月 28 日の平成 18 年 3 月期決算時に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

| | 営業収益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 3,070 | 510 | 250 |
| 今回修正予想(B) | 2,470 | 20 | 120 |
| 増減額(B-A) | 600 | 490 | 370 |
| 増減率 | 19.5% | 96.0% | 148% |
| 前期(平成 17 年 9 月中間)実績 | 1,988 | 239 | 142 |

2. 平成 19 年 3 月期単独中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)
(単位: 百万円、%)

| | 営業収益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 2,650 | 560 | 310 |
| 今回修正予想(B) | 2,240 | 70 | 10 |
| 増減額(B-A) | 410 | 490 | 300 |
| 増減率 | 15.4% | 87.5% | 96.7% |
| 前期(平成 17 年 9 月中間)実績 | 1,845 | 265 | 180 |

3. 修正の理由

証券取引事業におきましては、第2四半期における株式市況の低迷と委託手数料率の引下げの影響を受け、受入手数料が減少につながる見込みであります。

外国為替取引事業におきましては、7月中旬に行いましたオンライン外国為替取引システムのリプレイス時における不具合等により、顧客取引の機会損失が発生したことに加え、顧客預り金の出金が生じたことの影響、さらに8月から9月にかけての売買高を保守的に見込んだ結果、外国為替トレーディング損益が減少につながる見込みであります。

この他、特別損益におきまして、子会社であります 트레이ダーズフィナンシャルシステムズ(株)において開発を手がけていた証券取引システムについて、今後の開発継続目処が立たなくなったことに伴い減損損失を計上した結果、特別損失が連結で330百万円、単独で210百万円計上する見込みであります。

以上の理由により、従来業績予想に対して、単独中間業績の営業収益は15.4%、経常利益は87.5%、中間純利益は96.7%下回る見込みであります。

連結中間業績の営業収益は19.5%、経常利益は96.0%、中間純利益は148%下回る見込みであります。

なお、平成19年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)、平成19年3月期単独通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)及び期末配当金予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日 中間配当は実施いたしません。)につきましては、下半期における営業見通しに加え、当社の持株会社制への移行、子会社の合併による影響等を考慮し、平成18年8月下旬に行う予定であります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上